

授業科目名		心理デザインデータ解析演習			担当者氏名		教育学研究科 教授 楠見 孝		
英訳		Seminar on Data Analysis in Psychology and Design Studies					教育学研究科 特定助教 高橋雄介		
配当学年	大学院	単位数	2	開講期	前期	曜時限	水 2	授業形態	演習
[授業の概要・目的]									
<p>本演習では、人の認知の構造やプロセスを明らかにしたり、デザインを評価するための心理学的方法として、データ解析法とシミュレーションの技法を、最新の文献、ソフトウェア(SPSS, R など)に基づいて検討します。そして、取り上げた手法を理解し、各自が収集したデータを解析して、モデル化し、レベルの高い学術論文を執筆することを目標とします。</p>									
[授業計画と内容]									
<p>1 回目はイントロダクションを行い、2 回目以降は、受講者の関心に応じて、</p> <p>(1) 実験データの解析：分散分析，共分散分析，多変量分散分析，ノンパラメトリック検定，ロジック回帰分析，時系列分析など</p> <p>(2) 認知構造の解明：因子分析，クラスタ分析，多次元尺度解析，主成分分析など</p> <p>(3) 認知プロセスの検討：回帰分析，判別分析，共分散構造分析など</p> <p>(4) 質問紙データの分析：共分散構造分析，多母集団同時分析，数量化理論，コンジョイント分析，マルチレベル分析など</p> <p>(5) テキスト（自由記述や連想）データの分析：テキストマイニング，対応分析</p> <p>(6) ニューラルネットワークによるモデル化</p> <p>(7) メタ分析</p> <p>(8) 進化シミュレーション</p> <p>などのテーマを取り上げます。各自の関心に応じて他の解析法，ソフトウェアやマクロ作成法，他のシミュレーション技法，実験プログラムを取り上げてかまいません。</p> <p>発表者は、手法ごとに(1)背景となる文献の紹介，(2)利用法の説明・デモ，(3)できれば、自分たちのデータを利用した結果を紹介します。</p>									
[履修要件]									
<p>記述統計，推測統計の基礎的知識を持ち，データを分析した経験あるいは分析するデータを持っていることが望ましい。なお，受講者の発表テーマとレベルは，各自の関心と学習の進度に応じるかたちで設定する。</p>									
[成績評価の方法・基準]									
<p>授業への出席，担当回の発表，課題の提出を要件とする。</p>									
[教科書]									
なし									
[参考書等]									
<p>下記の授業 URL 参照</p> <p><a href="http://kyoumu.educ.kyoto-u.ac.jp/cogpsy/personal/Kusumi/datasem.htm">http://kyoumu.educ.kyoto-u.ac.jp/cogpsy/personal/Kusumi/datasem.htm</a>(授業の HP(PPT とデモデータを公開))</p> <p><a href="http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/cogpsy/personal/Kusumi/kaiseki.htm">http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/cogpsy/personal/Kusumi/kaiseki.htm</a>(過去に授業で発表されたデータ解析法の一覧)</p>									
[その他（授業外学習の指示・オフィスアワー等）]									
<p>教育学研究科の科目名「心理データ解析演習」</p> <p>履修者は 20 名に制限します。</p> <p>サテライト教室のコンピュータまたは、各自が持参するノートパソコンを利用します。サテライト教室のコンピュータを利用するため、メディアセンタのアカウントを取得しておいてください。</p> <p>発表に際しては、事前に PowerPoint とデモデータを HP 上に公開してください。</p> <p>※オフィスアワー実施の有無は、KULASIS で確認してください。</p>									